

平成28年5月27日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 笠原 久恵 様

議会報告会 4班
班長 西川 誠之
戸辺 滋
坂巻 儀一
石原 修治
加藤 啓子
根本 守
小田桐 仙

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成28年5月14日（土）
午後2時00分～午後4時00分
- 2 場所 東深井福社会館2階大広間
- 3 欠席議員 なし
- 4 参加者数 8人（うち議員2名・事務局2名）＋委員7名

5 報告内容

1：『交通安全について』

「北部地域の交通渋滞および道路の安全対策について」

戸辺 滋委員担当

この一年の間で「一般質問」にて取り上げられた掲記の件につき、質問内容及び改善報告について報告された。具体的項目は以下の通り。

- ①「東深井交差点の渋滞解消について」
- ②「既成住宅地内の道路の消えかかった路面標示書き直しについて」
- ③「市道269号線の速度規制について」

2：『消防・防災について』 坂巻儀一委員担当

- ①「自主防災組織」について
- ②「流山消防本部中央消防署の移転計画」についての報告
- ③「市道286号線、スーパーベルク東深井店周辺の冠水被害」に対する対策について

6 意見交換内容（概要）

問）市民（東深井）：運河水辺公園の側道（新川亭の前の道路）は、猛スピードで走る車両が多い。道路標示の件で、線引きや道路標示等、調査はされているのか。

回答）物流センターが建設される予定があるので、今後、道路のネットワークも含めて、対策を検討すべきと考える。

問）市民（東深井）：松戸・野田線（流山街道）の東深井交差点において、松戸方面からきて右折レーンがなくどうにかならないか。

運河交番のあるT字路の信号（駒形神社前）は、現在、感応式信号機である。東深井の住宅が増えており、感応式から普通の信号機に変えることはできないか。

回答）有料道路が無料化されて、運河橋や運河の交通状況が大きく変わってきたんだと思います。その地域の交通の流れを住民の方の声を、しっかりとチェックして再構築していかなければならない機会になってきていると思う。これから東日本で一番大きな物流と言われている物流センターがオープンしますので、流山の北部地区と隣接している地域と、地域の方の知恵をかりて、再構築することがいいのではないかと思う。

要望）東深井交差点はマクドナルドができて、右折レーンができなかったが、将来を見越してまだこれからの所は、十分に余裕を持った道路を

つくってほしい。

回答) 第三物流センターができるとトラックが増えることが懸念されますが、市の見越しは東深井交差点方面には、トラックが来ないとの見解でした

一議員の動きではなく、今後、他の議員と共に再検討してもっていきたいと思っている。

問) 市民(東深井): 一の台幼稚園とベルクに行く6差路のごみ収集所のある所の1件分の道路が狭くなっている。

セットバックを市として、地域として雰囲気を作ることはできないか。

回答) 調べた上、わかる範囲内で後日お答えをお返しいたします。

問) 備蓄の件で、小学校、中学校、公民館、図書館等にどれだけ分散して備蓄されているのか。

交通道路が寸断されて物資が取れない場合、市からの供給を待っているのでは間に合わない。例えば、ここ東深井福祉会館には何が備蓄されているのか。

市内の小、中学校に設置してあるものは、食料、水、発電機、おむつ、赤ちゃん用ミルク等です。必要な物の項目をあげて、それを蓄えるための計画をたてて配置しています。東深井福祉会館に備蓄している品は、すべて流山市のホームページに載せています。2つの小学校、1つの中学校に分散して備蓄しています。

7 参加者から議会への要望

市民(東深井): 松戸・野田線(流山街道)の東深井交差点から旧有料道路をつなぐ新設する道路は、渋滞する事が考えられる。玉葉橋の渋滞(特に水曜日と金曜日)により、今でも旧有料の橋から渋滞している状況である。

きちんと将来を見越して調査してほしい。

市民(東深井): 運河水辺公園近くの不動産屋が土・日曜日に住宅販売の為に、カラーコーンや表示などを、歩道や車道に置いている。以前、自

転車がカラーコーンにぶつかって車道側に倒れて、危うく事故になりそうな場面を目撃したことがある。市役所に行って危ないから何とかしてくれと対処をお願いしたら、張り紙のみで終わってしまった。現在、他の場所でも同じようなケースが非常に多く見かける。もっと現地で業者にしっかりと指導してほしい。

市民（東深井）：東深井小学校から江戸川台に向かって一つ目の信号は、わき道からほとんど人や車がこないのので、人や車が来たときだけ対応する感応式信号機にしてほしい。

市民（東深井）：野田市の松戸・野田線の山崎地区あたりは、野田市の方針で歩道など整備されてきている。

流山市は難しいにしても、何もしないのではなく、やる姿勢が見えず何年も放置されている。姿勢を見せてほしい。橋では昔、事故があり死亡者も出ている。あの通りは今後対処していかないと、今のままでは第2、第3の犠牲者が出るのが考えられる。

安全対策に対してきちんとした指導、検討、対処ができないか。

市民（東深井）：静岡に友人が多くよく連絡を取っているのだが、静岡ではラジオで朝、昼、晩と防災関連で装備品等の放送を流している。特に海岸地域の人たちは子どもたちだけではなく、大人たちも意識が高くなっている。

災害時には適切に速く対処できるかが勝負だと思う。流山市や地域でも防災・消防訓練等やっているが市民、自分たちも対応できるように、救済・救命の訓練の回数を増やしてもらいたい。街ぐるみで取り組んでいけばよいと思う。

東深井自治会では熊本の震災に対していち早く義援金に動いたが、流山市はとにかく行動が遅いと思う。市長は自分が先頭に立ってやるという意識の高さを持ってもらいたい。（リーダーの決断と実行力）

議会から市民からの要望がたったと出してほしい。

市民（東深井）：防災に関連すると思いますが、私はスーパーのベルクの近くに住んでいます。東深井小学校の所にスピーカーがありますが、私の家までは聞こえない。私は野田で仕事をしていたが、野田市は痴ほう症の方が行方不明になると直ぐに放送がはいり、1時間もしないうちに「皆

様のご協力で探し出すことが出来ました」との放送がはいる。

小学校の下校時間には、毎日15時になると、「地域の皆さん、見守りありがとうございます」という放送がはいる。

流山市もせっかくあるスピーカーをもっと積極的に活用してほしい。

市民(東深井): 防災無線の件で、流山市も外国人の方が増えてきている。
外国人対応の放送も考えるべきではないかと要望する。

8 所 感

《根本 守》

「市民に開かれた議会」に向けて、積極的な情報を提供する事、市民との意見交換を行う姿勢は否定するものではなく、むしろ積極的に行う必要があると考える。

しかし、近年の議会報告会の状況を考えると、議会報告会の開催について再考する時期が来ていると感じている。

議会報告会について、これまでの経緯を振り返ってみると、平成21年11月に第1回目の議会報告会が開催された。

同年3月に制定された議会基本条例第10条にも記してある議会報告会は、市民に開かれた議会の実現に向けて、議会が積極的に情報を公開し、市民との意見交換の場として、当時は、全国的にも進んだ取り組みであり、市民からも評価をしていただいたと考えている。

しかし、今回の状況もさることながら、残念ながら近年の議会報告会は執行部が行うタウンミーティング同様、参加人数が極めて少ない状況となっており、参加する市民も常連者が占めている傾向にある。

これは、市政に対して無関心層が多くなってきていること、市や議会が情報公開を積極的に行ってきたこと、メールなど意見を伝える場が多様にあることなど、市民を取り巻く環境が変わって来た事があると感じている。

また、参加する市民は、要望事項が中心であり、執行機関ではなく議事機関である議会としては、どうしても限界があることを市民も感じており、参加者が少ない現在の状況も市民の声であると考えます。

一部市民の声でなく、議会報告会に出ないような、行動に移さない市民の声を聴くため、市民の代表である私達議員ひとり一人は、日々、市民からの意見を聞き、議会情報を伝えている筈であり、このことをさらに極めて行く必要があると感じている。

これまで、全国1位に位置するほどの議会改革を進めてきた流山市議会である。環境の変化にも対応できる議会でなければならないと考え、議会報告会について再考をしていくべきと考える。

《西川せいし》

市民参加4名と十分に多かったとは言えないが、4人の方の熱心さでQ & Aでは大変盛り上がった。4人の方に感謝申し上げます。

さて報告会の内容はメンバー各位が述べているので、議会報告会のあるべき動員対策について一言。各班に必ず一人以上は市内東西南北のどこかに住まいされている議員が居る筈。やはり地元選出の議員中心に地元自治会連合や老人会、若手代表として地元小中学校のPTA役員さんぐらいには組織的には組織的には言わないが意欲的にアピール・声掛けをして頂きたい。

ある議員さんから「動員なんてもつてのほか!」と言われたことがあったが、市民が通常の広報活動だけで集まっていた数だけで十分。それがその時の議会の実力だから、それ以上すべきでないという感覚でした。

4常任委員会毎の本来の担当範囲の中で、その時々の方々の市民の最大の関心事を市民と共有するというスタンスが第1。開催場所の地域に関する事あれば丁寧に報告し、質疑に答える。ごく当然のことで、関心ある方々に議員自らご案内し、来ていただくことは出来るのではないかと？議員の方も沢山の人の見つめられて報告やら質疑応答するのも勉強になる筈。

それも議員の役目と今回は感じた。

次回までの宿題とさせていただく事にしたい。

《小田桐たかし》

市民と、忌憚なく意見交換でき良かった。議員各位の政策的一致点を垣間見られ、一致点が広がるきっかけとなった。

《加藤啓子》

参加者が少なく、一人も来ないのではと思われるような状況であったが、4人の市民が参加された。少人数ながら質問も多く寄せられ、活発な意見交換ができたと思う。特に市が出している情報を整理し受け取ることがなかなか難しいことが理解できたので、どうやったら情報が共有しやすくなるのかを考えて

いかなければならないと感じた。用がないと見ないホームページではなく、常にヤフーの検索エンジンのように使われるホームページのリンクの充実などが課題になるかもしれない。

《石原 修治》

今回の議会報告会では、・交通安全について・消防、防災についてと、身近なテーマとして市民の方々から活発な意見、要望が出され、今後も市民との意見交換の場は、より開かれるべきと感じた。

一個人の議員としては地域の課題、問題に取り組むのは当然のことながら、議会としてさらに多くの市民からの声を受け取ることも、開かれた議会には欠かせないことである。

近年、議会報告会への市民の参加が減少しており、今後の課題としていきたい。

《坂巻儀一》

今回の議会報告会では、私にとっては地元での開催ではありませんでしたが、敢えて動員は掛けない方が良いとの意見もあり、自主的参加をお待ちしておりましたが、やはり少なかった。参加者から「知っていたら話を聞きたい人は何人もいるはず」との声も聞かれました。

この先は他の媒体での議会報告会開催のお知らせを視野に入れた方が良いと感じました。

ただ、少ない参加者ながら活発な意見交換がなされ有意義な時間であったと思われます。残念なのはそれだけ活発な意見を出してくださる参加者でさえ、多数の議員が今までに議会において取り上げている地域の課題等であってもその課題に取り組んでいる事自体があまり知られていない事にも気づきました。市民の皆様にも周知されるのは、その問題が解決されてからと言う結果ありきなのかとも感じました。

《戸辺 滋》

今回の議会報告会には、ご多忙中にもかかわらず4名の方が参加され、議会報告の後に活発な意見交換ができ、大変に有意義な場となった。ただ、参加された方々が前向きなご意見を寄せて下さっただけに、さらに多くの方のご意見もお聞き出来ればとの思いが残る。

また、今回の議会報告のテーマも、「交通安全について」「消防・防災について」と、地域の身近な問題且つ重要なテーマであっただけに、もう少し多くの方に議会の取り組みを知って頂きつつ、更なるご意見を賜ることが出来ればとの思いも残る。

今回は偶然かも知れないが、女性の参加者がいなかったことから、性別や年代を超え、あらゆる世代の方々が気軽に参加できるような議会報告会の開催を目指してまいりたい。

また、今回の会場であった東深井福祉会館は、駐車スペースも十分ではなく、報告会の会場となった大広間も2階で、階段を使用するしか無かったことから、今後はどなたでも参加できるような会場選定をこれまで以上に心掛ける必要性を感じた。

以上